

## 単元名 式と計算

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 分配法則の意味や計算の順序を理解し、それに従って計算することができる。  
 (2) 分配法則を理解し、計算の正しい順序を考えることができる。  
 (3) 分配法則に関心を持ち、進んで活用しようとする。

## 標準的な展開例

03040209\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 かける数が同数である2つのかけ算の場面を別々に求めたり、組み合わせて求めたりすることができる。[p. 36・p. 37]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1本70円のジュースと1個30円のみかんを、それぞれ6つずつ買った時の代金を考える。</li> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ べつべつに考えたり、1組にして考えたりしてみよう。</li> <li>○ 2つの考え方を式に表し、説明する。</li> </ul> <p>○ 積み木の高さの違いを求める問題に取り組む。</p> <p>2 分配法則のきまりを理解し、正しく計算することができる。[p. 38・p. 39]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 60円のえんぴつと20円のキャップを、それぞれ5つずつ買った時の代金を求める。</li> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ ( ) を使って、1つの式にかいて考えよう。</li> <li>○ 分配法則についてまとめる。</li> <li>○ 鉛筆5本とキャップ5個の代金の違いを考える。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジュースとみかんの絵を用意して、同じ数がどこにあるかを把握させる。</li> <li>・ <math>70 + 30 = 100</math>がジュースとみかんを合わせた値段であることを確認する。</li> <li>【評】 2つの式を説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ はるかさんと弟の積み木の数が同じであることに注目させ、1個あたりの違いが分かることが大切であると気付かせる。</li> <li>・ 2通りの考え方があることを具体的に捉えさせる過程で、分配法則が成り立つことを理解させる。</li> <li>・ 前時と同じように2通りの解き方で求める。</li> <li>・ 「何倍でしょう」の単元で( )は先に計算する部分に使う記号であったことを確認する。</li> <li>・ どちらの考え方で計算しても、答えが同じになることから分配法則が成り立つことを理解させる。</li> <li>・ 前時同様、1個あたりで値段が何円違うかに注目させる。</li> <li>・ ひき算でもたし算同様、分配法則が成り立つことを確認する。</li> <li>・ 分配法則の右辺と左辺を比較しながら式を利用して解かせる。</li> <li>【評】 分配法則を利用して問題を解く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> </ul>

## 【 備 考 】

本単元では、2つの考え方をそれぞれ1つの式に表すことを通して、分配法則を理解させることをねらいとしている。そのため、具体的な問題を取り上げ、分配法則が成り立つことを理解できるようにする必要がある。もし、児童から1つの考え方しか出てこない場合は、図やヒントを利用して、もう1つの考え方に気付かせるとよい。そして、どちらも同一事象について成り立っていることから、分配法則  $(a \times c \pm b \times c = (a \pm b) \times c)$  が成り立つことを実感させたい。